

令和3年度 さいたま市立大宮小学校 学校関係者評価書

さいたま市立大宮小学校

学校関係者評価委員長 久世 晴雅 印

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

8名

(2) 実施回数

2回/年

※年3回の開催予定が、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応のため2回の実施となった。

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

(1) 学校教育改善アンケートの結果

- ・コロナ禍において、肯定的評価が多くなっていて素晴らしい。
- ・児童の頑張りとともに、先生方の日頃の取組が成果を挙げていると考えられる。
- ・先生、児童、家庭、地域ががんばった証拠である。
- ・アンケート結果から、改めてこんなにいい学校なんだと実感できた。
- ・17番「学校行事」の保護者の評価が高い。コロナ禍でも感染防止対策を講じながら、行事を実施してくださったことへの評価ではないか。※17番「学校行事」肯定的評価96%
- ・教職員の肯定的評価の割合は多いのに、保護者の割合は低いものがある。保護者に伝わっていないのではないか。6番「いじめ防止」、8番「家庭学習」、11番「相談しやすさ」、13番「防犯」など。
- ・1番「学校に楽しく通っている」、15番「ねばり強さ」、19番「おはよう活動・駅前清掃」は、「そう思わない」と考えている人もいる。その理由を問うてもよいのではないか。

(2) その他

- ・子どもひなん所110番の家へのお礼の手紙は大変ありがたい。
- ・4年生が実施した、地域の店・施設41か所に共同募金箱を置く取組が素晴らしい。他校から真似したいと問い合わせがあった。
- ・コロナ禍で、オンライン授業を実施している。その実施方法がどうだったのか、問うてもいいのでは。
- ・アートフルゆめまつり、レッツ・ジョイン！クリーン活動等の活動は、地域と学校とがまさに連携している、よい取組である。
- ・子どもたちの「笑顔」と「挨拶」が地域の活動の励みになる。これからもお願いしたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

今年度、学校関係者評価委員の方々からいただいた意見や、「教育改善アンケート」の結果を次年度の本校の教育活動に生かしていく。特に、以下の4点について充実を図る。

- 「教育改善アンケート」の質問項目や、その理由を問うものの加除修正を検討する。
- 「分かりやすい授業」の継続と、「力が付く指導」「安心して学べる指導」について、研修を進める。これまで育ててきた協働の力を生かし、児童主体の充実した学習活動が行われるように努める。
- 地域・保護者との連携を密にし、情報の発信の方法と機会を工夫することにより、その共有化を充実させる。
- 業務分担や行事内容の精選を進め、業務のスリム化と工夫したマネジメントにより、学校における働き方改革をさらに推進する。

さいたま市立大宮小学校長 石井 寛 印